

0.12%

褥瘡発生率

測定値の定義・計算方法

Outcome 分子：

d2（真皮までの損傷）以上の院内新規褥瘡発生患者数

分母：

同日入退院患者または褥瘡持込患者または調査月間以前の院内新規褥瘡発生患者を除く入院患者延べ数（人日）

活動のきっかけ

褥瘡は、疼痛などにより患者のQOLの低下をきたすとともに治療が長期に及ぶと、在院日数の長期化や医療費の増大にもつながる。褥瘡予防対策を多職種と協同し重点的に取り組み、褥瘡発生を抑えることで、患者のQOLの維持や退院後の安定した生活へと繋げることができるため、取り組んでいく必要がある。

改善活動部門

- 形成外科
- 救命救急センター病棟
- 看護の質向上室

考察

上手くいったこと	課題と感じたこと
<ul style="list-style-type: none">病棟m t gメンバーが全体と部署での褥瘡発生状況を毎月把握し、部署での褥瘡発生状況を分析し、主任や管理者と共有することで、病棟内での予防ケアを日々の看護実践として取り組むことができた。おしりの予防的スキンケアを実施する仕組みが整えられ、おしり周り（仙骨、尾骨、臀部）の褥瘡発生件数が減少した	<ul style="list-style-type: none">踵部に発生する褥瘡発生が増えたため、踵部に対する皮膚観察や褥瘡に対する除圧とポジショニング等の予防ケアに取り組み患者のQOLの維持や早期退院につなげていく必要がある